

RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 2 7

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F
ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
(カルヤン・パネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 6 0 5 回例会

平成 2 4 年 1 月 2 5 日(水)

南砺市井波総合文化センターエイトホール

1. 点 鐘 会長
2. ソング 「それこそロータリー」
3. ビジター：北村憲三君（砺波 RC） 荒井進君（南砺 RC）
4. 会長の時間：寒の内、1 年で一番寒い時期です。週間天気予報では、南砺市の最高気温が、今日は 0℃、明日が 1℃、31 日月曜は-1℃で、最低気温が-5℃で、少し覚悟をしなければならいかなと思っています。

さて、城端の金戸の専徳寺の住職と話をしていたら、冬に雪が多いかを占う「寒試し」をする人が金戸におられます。ついこの間まで、小矢部に 1 人おられました。新聞で報道されていましたが、その方は亡くなられたようです。城端のその方は先祖代々伝わっている秘法で占うそうで、今年の占いを聞いたら、やはり降ると言っておられたそうです。

昔から我々がよく聞く「モズの早贄」は、モズが昆虫などの獲物を木の枝に突き刺したり木の枝股に挟んだりする行為ですが、その位置が低ければ雪が少ない、高ければ大雪ということをいいます。別に、「カマキリの巣」というのもあり、山で頂上付近でカマキリが積雪量の 50cm ほど上に巣作りをし、中腹や裾野でも積雪量の 50cm ほど上に巣をつくるそうです。い

ろいろ調べましたら、これらの「寒試し」は裏日本しかなく、農業の作付に時期をしりたい雪国の地域の人々のニーズから出たものですね。また、このような「寒試し」は生物学者や昆虫学者に聞いても、科学的な根拠はないそうで、昔の言い伝えですね。しかし、あまりに科学で解明されるよりも、「モズの早贄」で今年の雪はどうかという世界の方が人間的な温かみがあると感じます。

北村憲三さん、荒井進さん、本日はようこそ、悪天候の中、お越しいただき有難うございます。

5. 幹事報告：①本部寄りの連絡：2 月のロータリーレートは 1 ドル 78 円です。②国際年次大会参加のよびかけです。2610 地区からで、ラオスのセンターを研修する計画です。③小矢部 RC の会報が来ています。(回覧)。④例会変更は事務局にお尋ねください。
6. 委員会報告：①出席委員会：本日 16 名出席 (84.21%)
②国際奉仕委員会 (山本)：I、地区から国際青少年交換委員会よりアメリカ交換留学プログラムの内容が来ております。派遣の資格はロータリアンの子弟で、高校生であることが原則。当地区から 1 名で、8 月上旬から 4 週間アメリカに派遣しますが、その前 7 月に 4 週間アメリカの留学生を受け入れることが条件です。II、来週の例会に、庄川中学 ALT のムラサキ先生にゲストで来て頂きます。是非ご参加ください。III、書き損じはがきについてもよろしくお願ひします。
7. ニコニコBOX(本日 5 名、10000 円。1 月計 56000

円、年度累計 345400 円)

高瀬会長:今年は 2 月に入ると大雪の長期予報が出ていましたが、予報が当たりそうですね。北村様。荒井様、本日はようこそ。

山本会員:大雪です。これから千葉に行きます。どんなルートになるやら。娘たち富山北部高校女子剣道部、見事選抜出場決定です。大震災で中止になった昨年の分まで応援してきます。書き損じはがきよろしく。

助田会員:砺波 RC 北村様、南砺 RC 荒井様お久しぶりです。本日はようこそ、ごゆっくりどうぞ。

岩崎会員:北村様、荒井様ようこそ。来週東京研修で欠席します。

河合会員:めったにないニコ BOX の日でした。



卓話「天空を走る！青海チベット鉄道の旅」

高瀬顕正会長（長谷川吉美会員代理）

…青海チベット鉄道の車窓からの景色をスライドおよび動画で鑑賞

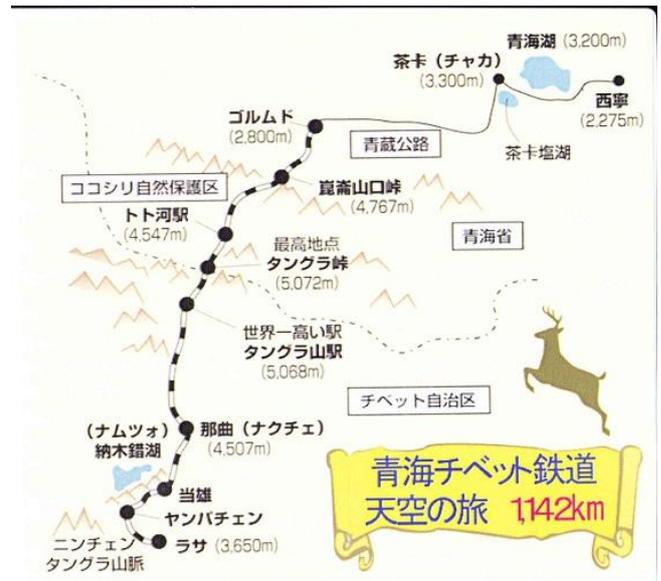
高瀬会長:今日の卓話予定の長谷川吉美さんが体調を崩されたということで代理を務めます。

昨年 6 月にチベットに行ってきました。世界で一番高い所を走る高山鉄道の話に絞って今日はお話します。

小松から出発し、目的地はチベットの昔の首都ラサです。飛行機で上海から直通で行く方法もありますが、列車で 24 時間かかる鉄道でのコースに敢えてしました。富士山より標高が高く、高山病になるので体を慣らすため敢えて時間のかかる遅い旅行にしました。

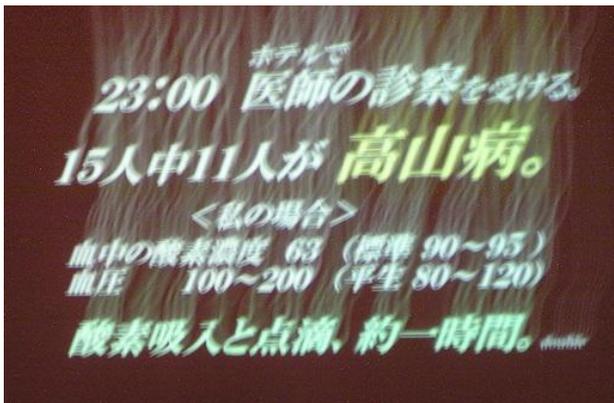
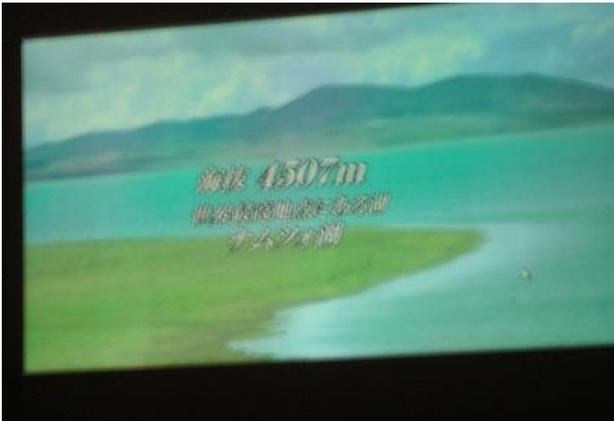
青海チベット鉄道、これは中国共産党が 1951 年にチベ

ットに攻めこみ、翌年にチベットという国を無くし、中国領土にしました。ここはチベット仏教の聖地であり、歴代ダライ・ラマが実権を握っていましたが、インドに亡命しました。今から 60 年前に出来事です。チベットの人たちは中国人をあまり快くは思っていない。入り込んで、商売をして儲けているのはすべて中国人、立派な鉄道を作るのも何か魂胆があったのではないかと思います。



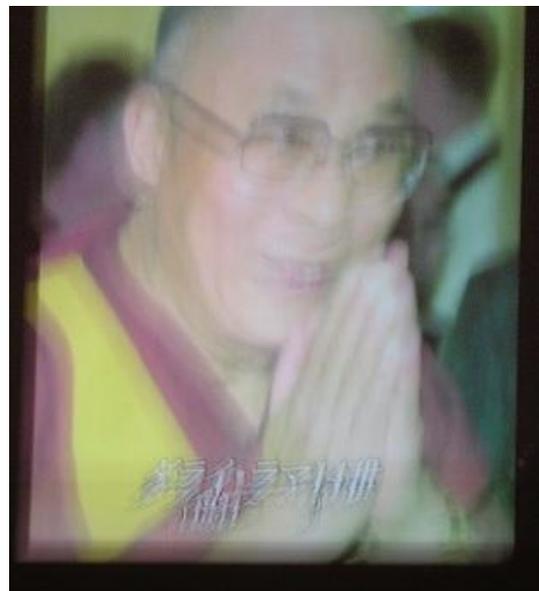
青海チベット鉄道、全長 1142 km、平均標高が 4000 m、富士山より高井所を走る天空列車です。今日はこの話をさせていただきます。西寧間で列車で行き、乗り換えます。標高が 2275m です。その後、ゴルムドまで走り、ここで列車が止まります。ここからが高山鉄道になり、普通の機関車では走れないので、付け替えして高山用機関車を 2 機繋いで走ります。標高 4500m 程のココシリ自然保護区を通過し、タングラ峠（ここは鉄道の世界最高地点：標高 5072m）を通り、世界一標高の高い駅のタングラ山駅（標高 5068m）さらにナムツォという湖（世界で一番高い所にある淡水湖）を眺めて、そして終着駅のラサ（標高 3650 m）に 24 時間かけて到着しました。……（以下、車窓からの景色のスライドの説明）……西寧駅→寝台車→標高約 2000m の朝の景色→ゴルムド駅→アメリカ式ディーゼル機関車・天空列車・酸素吸入装置・食堂車→海拔 4000m の景色（無人の世界）→タングラ山駅（世界一標高の高い駅：5068m。永久凍土地帯・野生動物の楽園：馬など）→ナムツォ湖（4507m・淡水湖）→ラサ駅到着（22：00、出発して 24 時間経過）→22：30 ホテル到着

(私を始め、頭が痛く気持ち悪く、後半は寝ていた。酸素吸入装置もほんとに酸素が出ていたのか不明、あまり良くならなかった) ホテルに到着すると、早速医師の診察→治療は酸素吸入と点滴で、15人中11人が高山病でした。治療費は32000円でこれは後で旅行保険で賄われます。→朝起きたら、全く気分爽快、大変すっきりしていました。(点滴の中に催眠剤が入っていたのでは…)



ラサ(羅些)の宮殿(ポタラ宮)の主が、ダライ・ラマ14世です。このチベットの宗主、ダライ・ラマ1世が1474年に亡くなったが、2世はそのようにして選ぶのかといいますと、ダライ・ラマは僧であり、妻帯(一生独身)しないので子供はいません。そこで、生まれ変わりを探すことになります。1475年にチベット内で生まれた子供をすべて調べ、見つけ出されて生まれ変わりだと認定されます。そこから英才教育されます。この方法が現在でも続いています。……(スライドで2世から8世までの顔が映し出される)……9世から12世まで4代続けて悲劇が起きています。9世が10歳で毒殺、10世が21歳で刺殺、11世が17歳で毒殺、12世が19歳で毒殺されました。13世が事なきを得て、現在のように立派にしました。1933年に亡くなり、1934年生まれの中から生まれ変わりとし

て選ばれたのが、今のダライ・ラマ14世です。14世も高齢なので、14世亡き後、15世がどのように探すのかが注目されています。チベットは中国領となっており、亡命先で探すのも難しく、これからの課題であります。……(これより、チベット鉄道の動画が放映される。)



(お断り:記録用デジカメは、古いもので手ぶれしていました。お詫び致します。山本)